

レジメン名称	1コース	催吐性リスク
Rituximab	7日間	最小度催吐性リスク

		薬剤	用量	用法	1	2	3	4	5	6	7
		ロキソプロフェン錠60mg	1錠	リツキシマブ投与開始30分前に内服	●						
滴下順	薬剤	用量	ルート	投与時間	1	2	3	4	5	6	7
1	生理食塩液	250mL	メイン	ルートキープ	●						
2	d-クロルフェニラミン 生理食塩液	5mg 100mL	側管	30分	●						
3	リツキシマブ 生理食塩液	375mg/m ² 10倍希釈	側管	※参照	●						
4	生理食塩液	50mL	側管	全開	●						

※①リツキシマブ開始～30分

50mL/時で投与

②リツキシマブ投与30分～60分まで

インフュージョンリアクション認めないことを確認し100mL/時で投与

③リツキシマブ投与60分以降

インフュージョンリアクション認めなければ30分毎に投与速度(50mL/時)を上げて良い

★最大400mL/時まで

- ・インフュージョンリアクションは初回、投与開始30～60分に多く発現するため注意
- ・投与開始時、投与速度を上げたときは特にインフュージョンリアクションの発現に注意